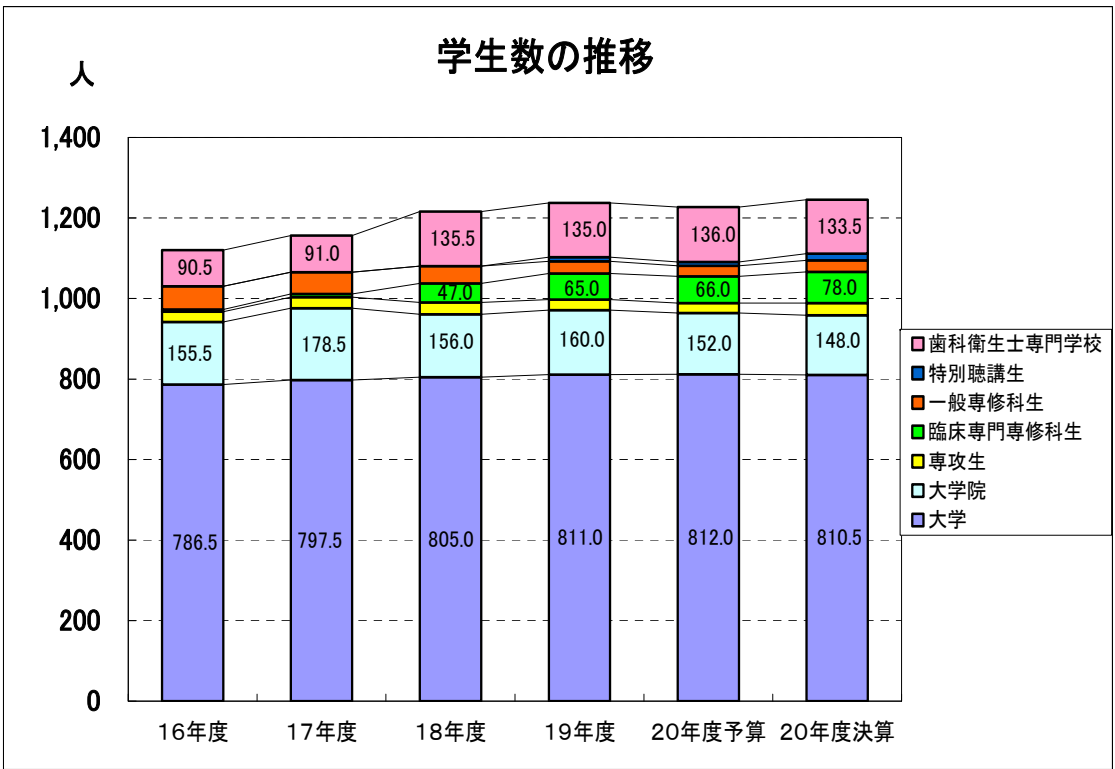


平成20年度事業報告書

1. 法人の概要

① 学生数の推移



	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度予算	20年度決算
大学	786.5	797.5	805.0	811.0	812.0	810.5
大学院	155.5	178.5	156.0	160.0	152.0	148.0
専攻生	25.0	27.0	29.5	26.5	25.0	30.0
臨床専門専修科生	6.0	8.0	47.0	65.0	66.0	78.0
一般専修科生	57.0	54.0	43.0	30.0	26.0	28.3
特別聴講生				10.0	10.0	17.0
歯科衛生士専門学校	90.5	91.0	135.5	135.0	136.0	133.5
計	1,120.5	1,156.0	1,216.0	1,237.5	1,227.0	1,245.3

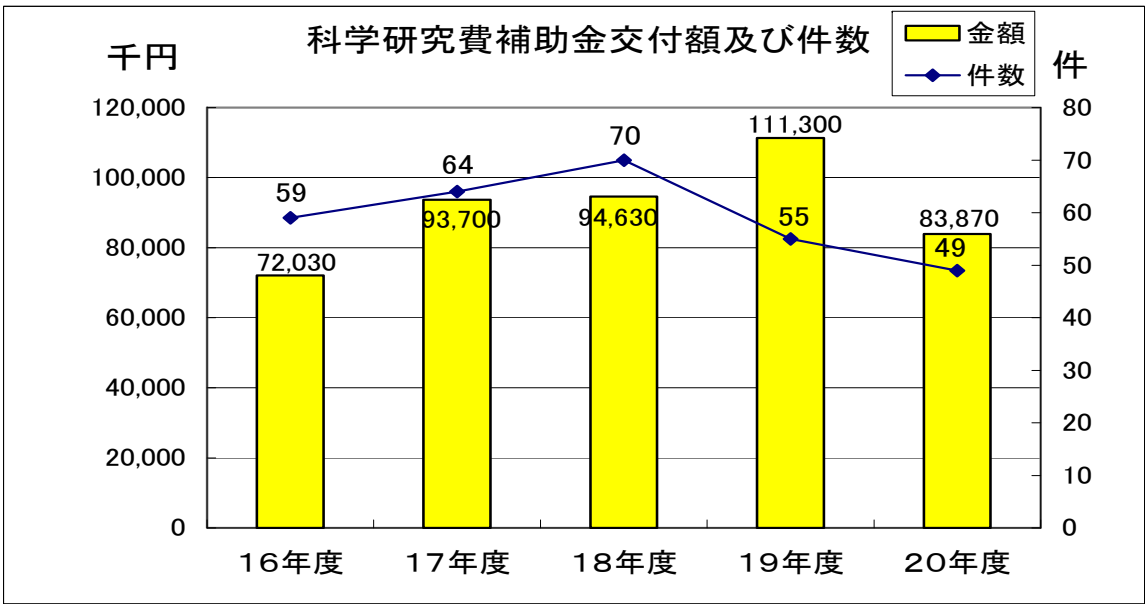
② 学部・大学院・歯科衛生士専門学校の入学定員

学部	140名
大学院 歯学研究科 歯科基礎系	10名
歯科臨床系	24名
歯科衛生士専門学校	40名

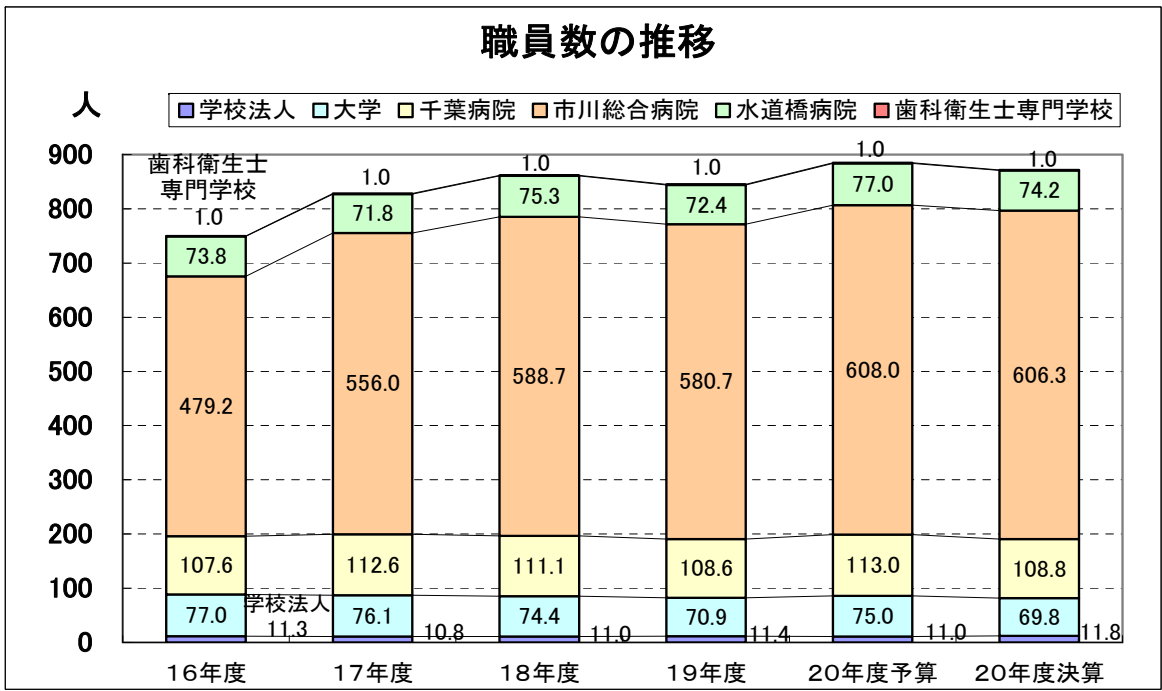
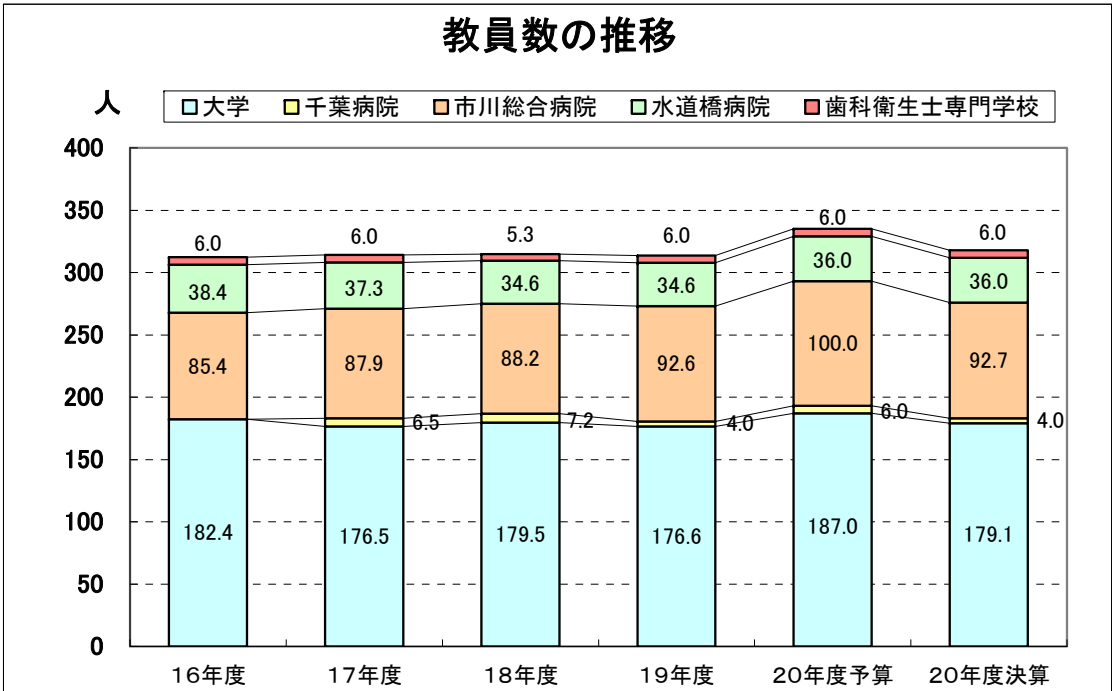
③ 留学生の状況

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
(大学)	0	0	1	1	5
(大学院)	2	3	2	2	1
(専攻生)	0	0	0	0	0
(専修科生)	0	0	0	0	0
合計	2	3	3	3	8

④ 科学研究費補助金交付額及び件数



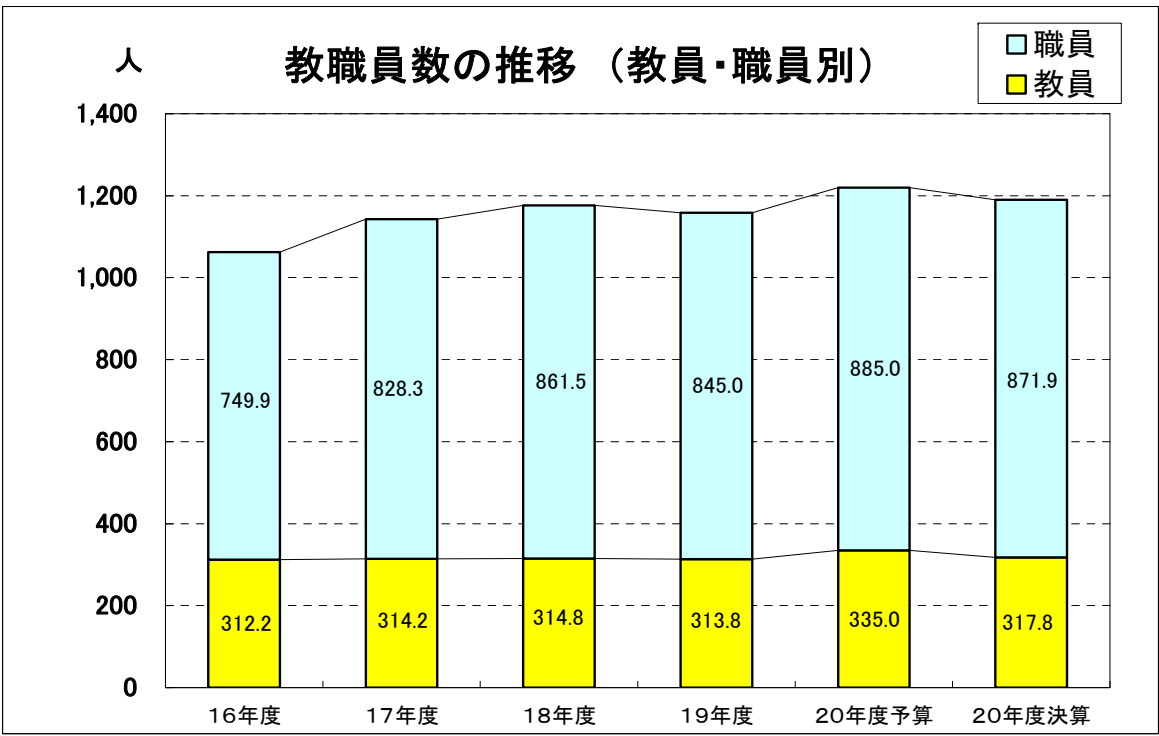
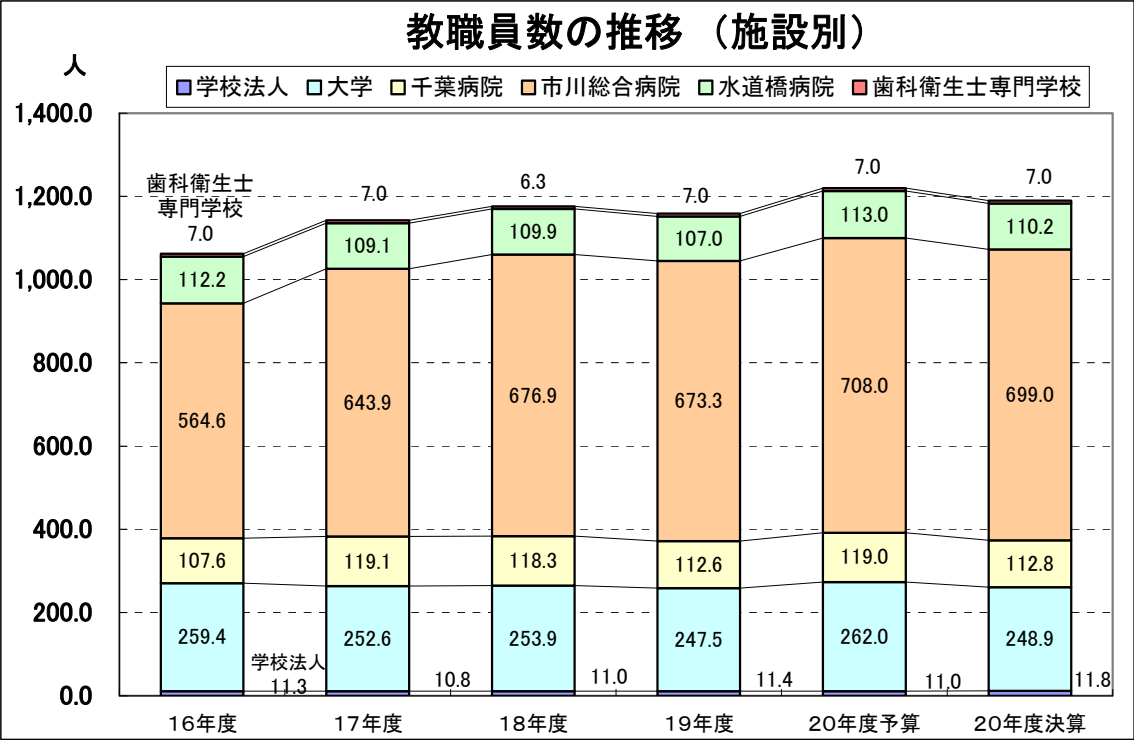
⑤ 教職員数



☆千葉病院教員は、病院の教員人件費対象者を除き大学に含む。

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度予算	20年度決算
大学	182.4	176.5	179.5	176.6	187.0	179.1
千葉病院	0.0	6.5	7.2	4.0	6.0	4.0
市川総合病院	85.4	87.9	88.2	92.6	100.0	92.7
水道橋病院	38.4	37.3	34.6	34.6	36.0	36.0
歯科衛生士専門学校	6.0	6.0	5.3	6.0	6.0	6.0
計	312.2	314.2	314.8	313.8	335.0	317.8

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度予算	20年度決算
学校法人	11.3	10.8	11.0	11.4	11.0	11.8
大学	77.0	76.1	74.4	70.9	75.0	69.8
千葉病院	107.6	112.6	111.1	108.6	113.0	108.8
市川総合病院	479.2	556.0	588.7	580.7	608.0	606.3
水道橋病院	73.8	71.8	75.3	72.4	77.0	74.2
歯科衛生士専門学校	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
計	749.9	828.3	861.5	845.0	885.0	871.9



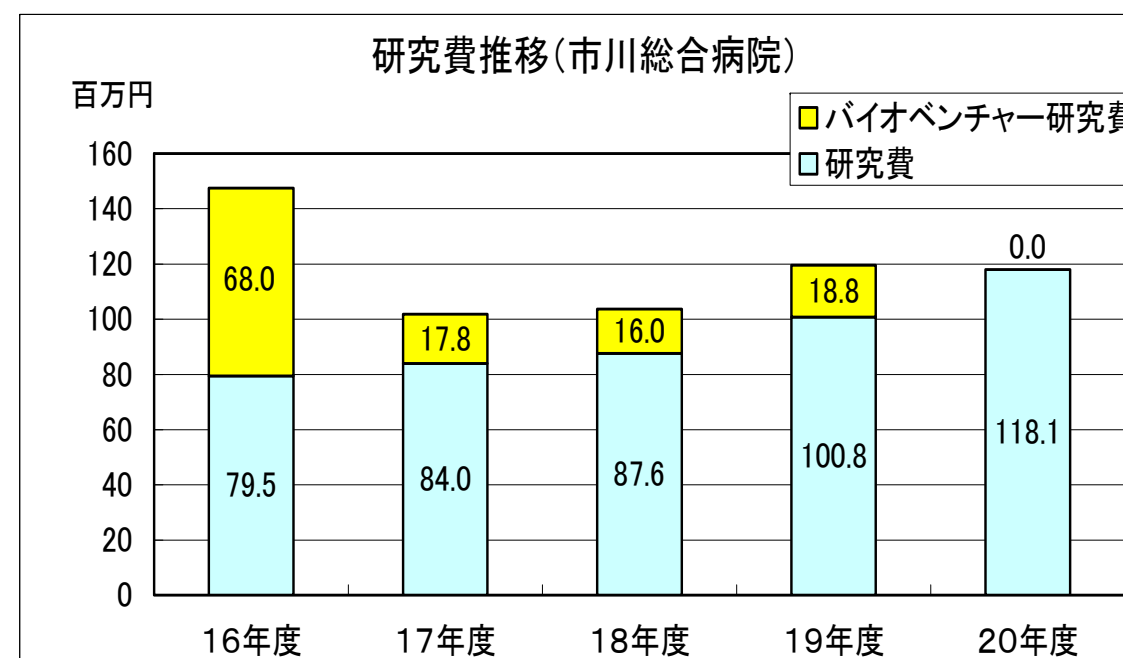
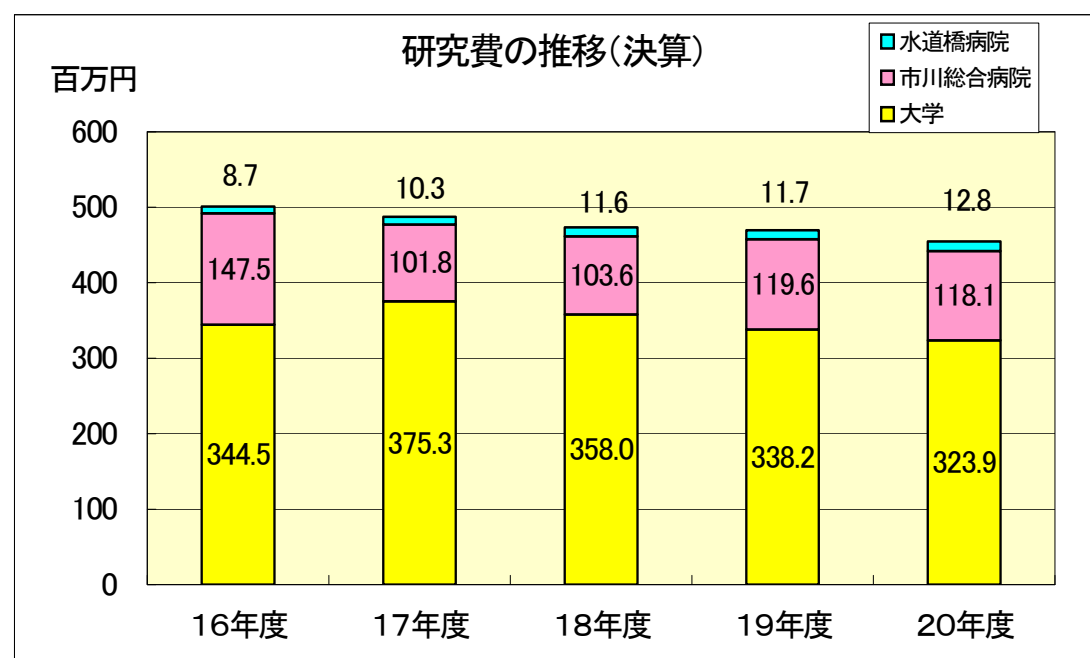
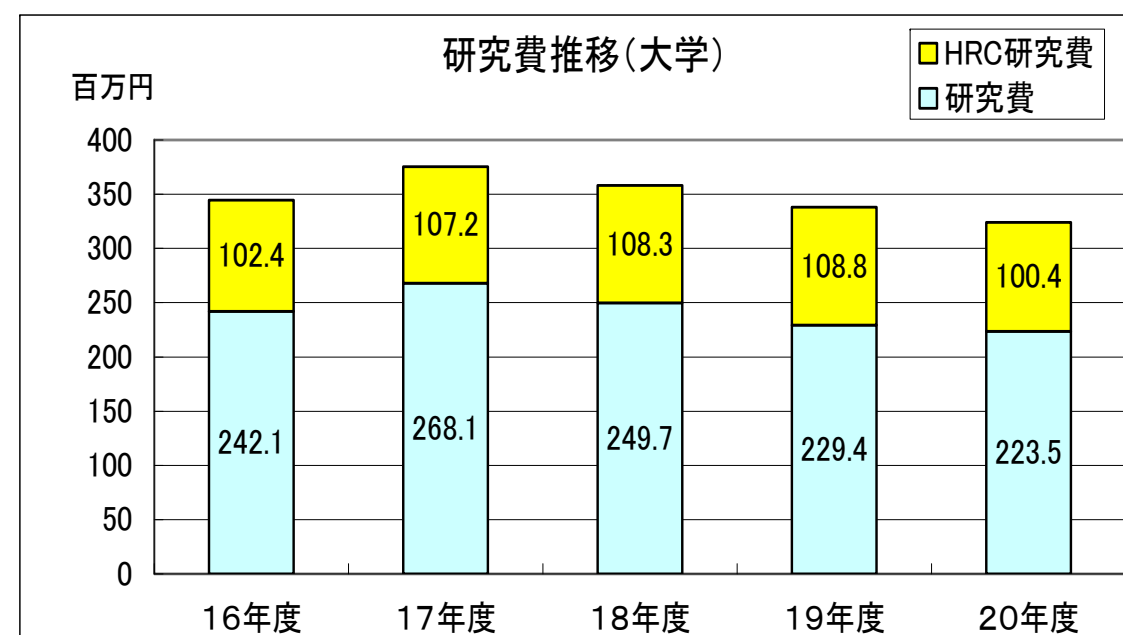
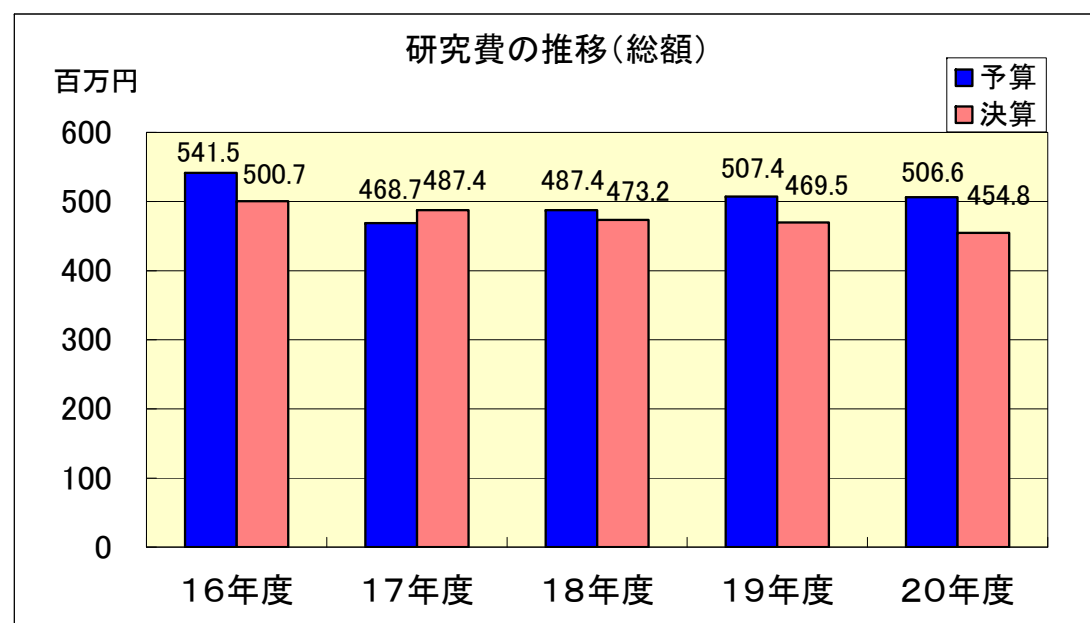
☆千葉病院教員は、病院の教員人件費対象者を除き大学に含む。

(人)

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度予算	20年度決算
学校法人	11.3	10.8	11.0	11.4	11.0	11.8
大学	259.4	252.6	253.9	247.5	262.0	248.9
千葉病院	107.6	119.1	118.3	112.6	119.0	112.8
市川総合病院	564.6	643.9	676.9	673.3	708.0	699.0
水道橋病院	112.2	109.1	109.9	107.0	113.0	110.2
歯科衛生士専門学校	7.0	7.0	6.3	7.0	7.0	7.0
教職員計	1,062.1	1,142.5	1,176.3	1,158.8	1,220.0	1,189.7

2. 事業の概要

① 研究費の推移

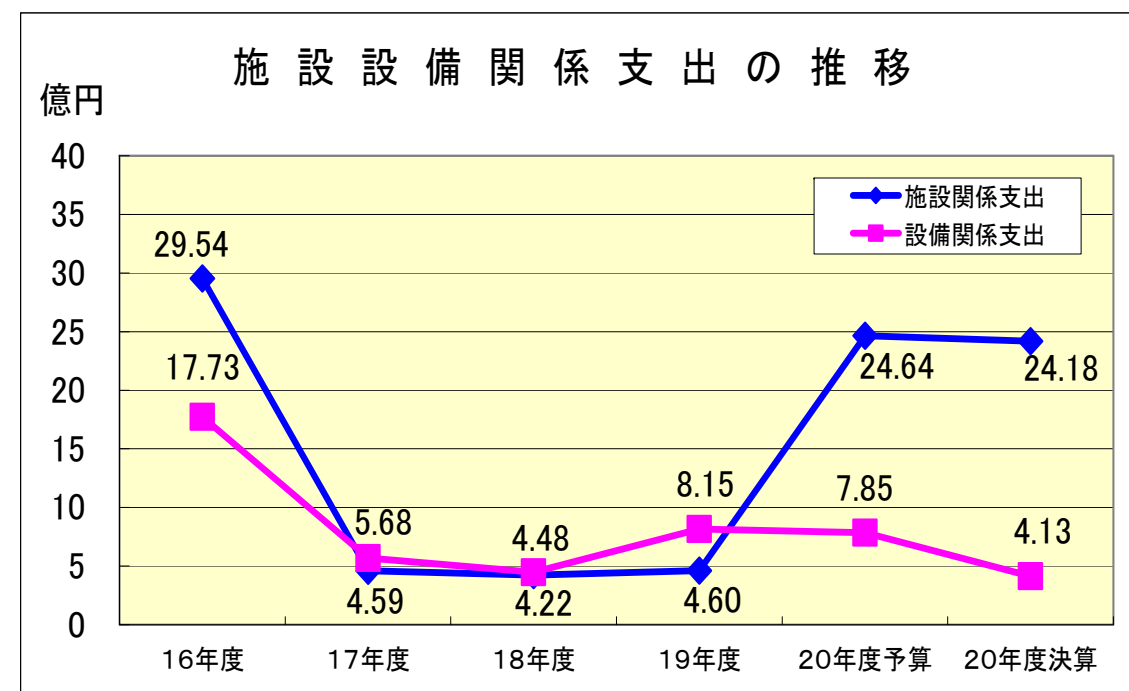


② 20年度の主要な施設・設備関係等支出

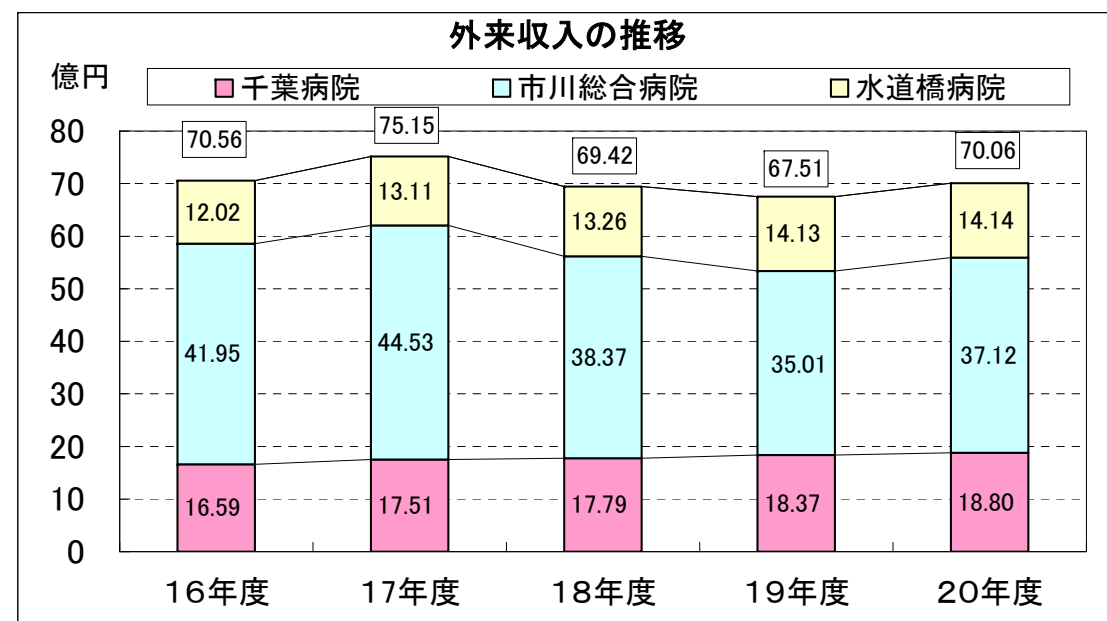
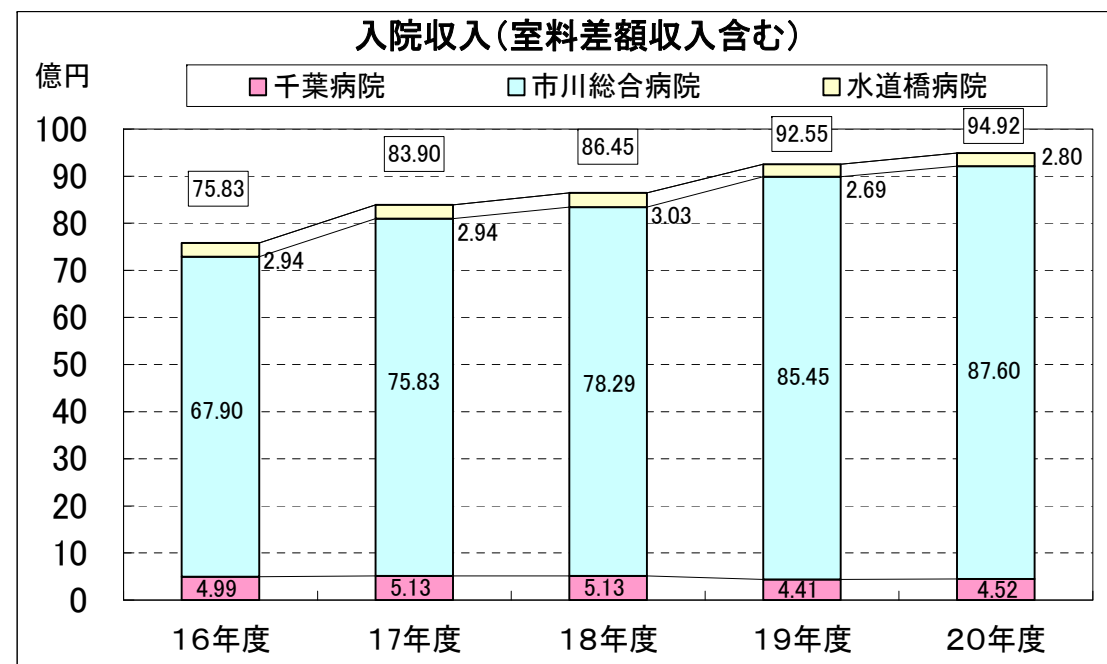
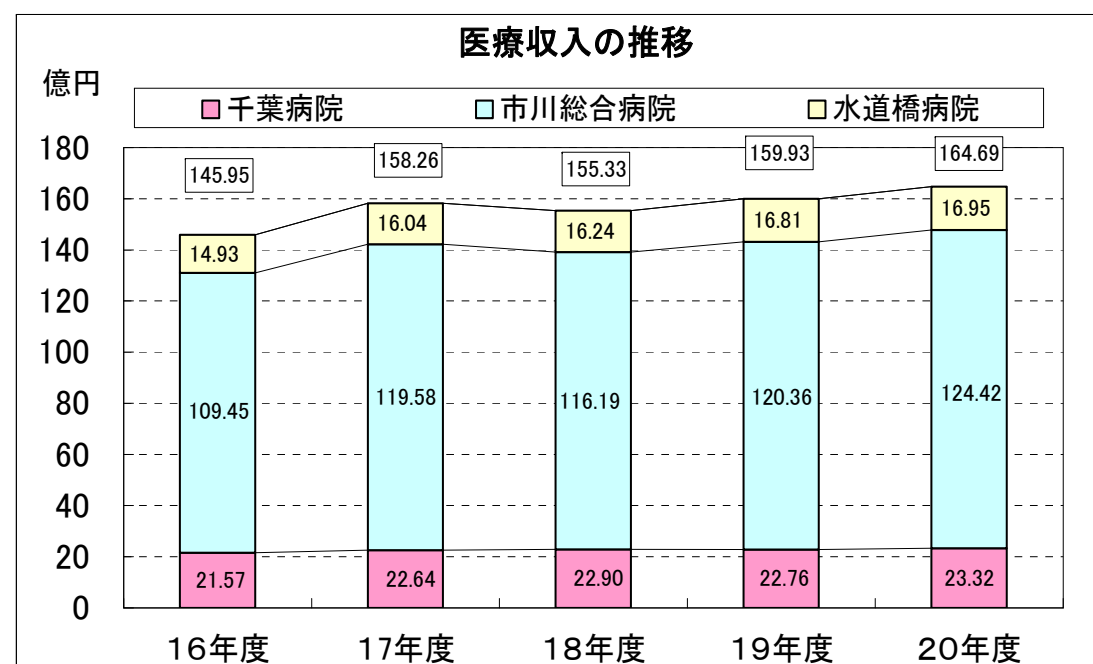
※ 施設別内訳

(学校法人)			
	予算	決算	差額
施設関係支出	227,790	222,487	5,303
土地支出・建設仮勘定支出	227,648	221,840	5,808
神田駿河台二丁目土地購入	156,794	156,794	0
三崎町二丁目土地購入	70,854	65,046	5,808
建物支出	142	647	△505
TDCビル蓄電池設備更新工事他	142	647	△505
設備関係支出	100	19	81
その他の機器備品支出	100	19	81
(大学・千葉病院)			
施設関係支出	519	547	△28
建物支出	519	457	62
基礎棟・病棟トイレ改修工事	519	46	473
病院棟X線撮影室改修工事他	0	411	△411
構築物支出	0	90	△90
患者駐輪場設置工事	0	90	△90
設備関係支出	28,546	22,848	5,698
教育研究用機器備品支出	22,306	16,912	5,394
その他の機器備品支出	3,440	2,976	464
図書支出	2,800	2,822	△22
車輛支出	0	138	△138
(市川総合病院)			
施設関係支出	17,409	18,472	△1,063
建物支出	17,409	18,472	△1,063
中央監視装置更新工事	16,275	15,603	672
非常放送設備一元化工事	1,134	847	287
外来化学療法室改修工事他	0	2,022	△2,022
設備関係支出	42,510	15,389	27,121
教育研究用機器備品支出	41,510	14,022	27,488
その他の機器備品支出	200	511	△311
図書支出	800	856	△56
(水道橋病院)			
施設関係支出	636	322	314
建物支出	636	322	314
診療室OAフロアー張替工事(口腔外科)	235	0	235
TDCビル蓄電池設備・揚水ポンプ更新工事	401	322	79
設備関係支出	7,018	2,739	4,279
教育研究用機器備品支出	6,519	2,623	3,896
その他の機器備品支出	449	107	342
図書支出	50	9	41
(歯科衛生士専門学校)			
設備関係支出	336	326	10
教育研究用機器備品支出	336	326	10

(総額)			
	予算	決算	差額
施設関係支出	246,354	241,828	4,526
設備関係支出	78,510	41,321	37,189



③ 附属病院医療収入推移グラフ (歯科衛生士専門学校を除く)



3. 財務の概要

消費収支計算書

平成２０年度の消費収入の部では、学生生徒等納付金は学部在学生数が（ ㊦ ８１２人減 ８１０．５人）と予算とほぼ同等、全体で約 １，３００万円の増となった。寄付金では、一般寄付金があったため寄付金全体で予算より増となった。補助金は市川で臨時的な増があったものの、大学全体では歯科臨床研修費で １，１００万円の減、私立大学等経常費補助金が約 ２，２００万円の減となり、また市川総合病院のがん診療拠点病院に係る放射線機器の導入が次年度に繰り延べとなったことから、予算計上した補助金 １億 ４，０００万円も先送りとなり、全体で予算より約 ９，９００万円の減となった。また医療収入については、３病院とも前年度収入を上回ったものの、対予算では千葉病院では診療単価減で、水道橋病院では患者数減で外来・入院とも収入減となった。市川総合病院では入院患者数が減となったもの D P C 導入で診療単価増、外来も患者数増となり収入増となり、医療収入全体で １億 ５，１００万円増となった。資産運用収入では、受取利息・配当金が増となり ３，４００万円の増となった。事業収入等も予算より約 ４，０００万円増となった。雑収入でも退職金財団交付金が増となった。よって**帰属収入合計**は、２３８億 ３，５００万円となり、予算より ２億 ６，９００万円増となった。**基本金組入額合計**は土地購入があったことから ２７億 ７，６００万円となった。その結果、帰属収入から基本金組入額合計を差し引いた**消費収入の部合計**は、２１０億 ５，９００万円を計上した。

一方、消費支出の部では、人件費で退職給与引当金繰入額の増があったものの、対予算では ７，３００万円の減であった。教育研究経費は、＜教育研究経費＞は多くの科目で予算内の執行となったため、総額では予算より ２億 ９，８００万円減となった。＜医療経費＞は市川総合病院で増となり、４，２００万円予算を上回った。また、管理経費は科目ごとの増減はあるものの、トータルでは ４，６００万円の予算減となった。一方、資産処分差額では学校法人で有価証券、大学及び各病院で固定資産の処分が予算をやや上回ったことから予備費より約 １，０００万円流用した。以上により、**消費支出の部合計**は、２２７億 １，７００万円となり、予算より ５億 ８，９００万円の減となった。

その結果、短期的な経営指針である帰属収支差額（帰属収入－消費支出）でみると １１億 １，８００万円の黒字計上となり、予算を ８億 ５，８００万円上回った。帰属収入に対する予備費を除いた消費支出比率は ９５．３％となり、予算の ９８．０％を下回った。

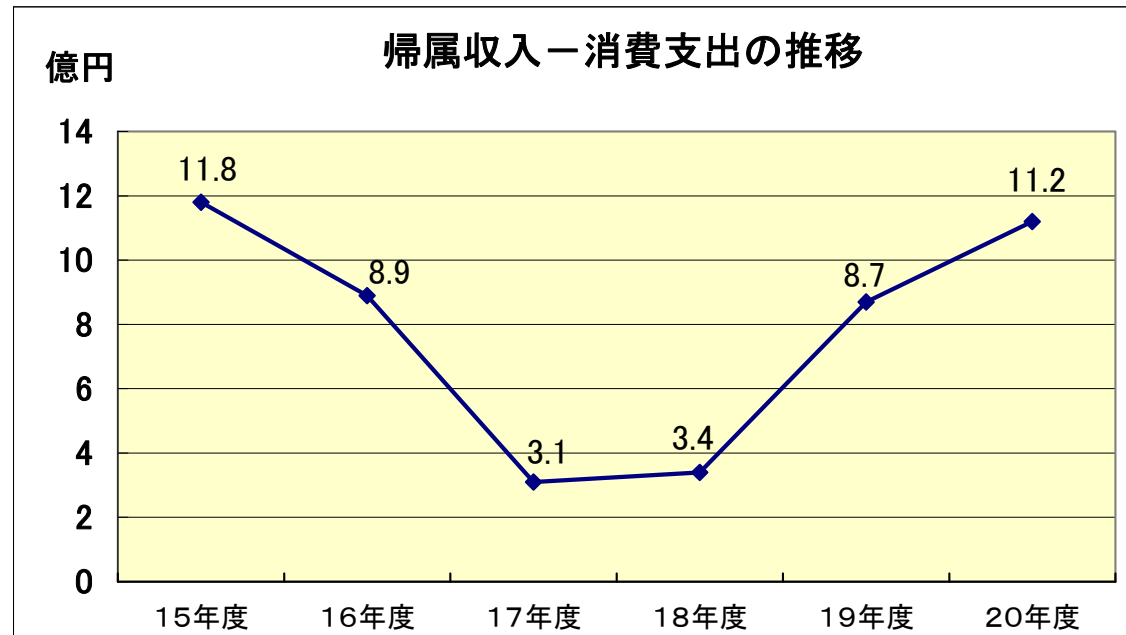
長期的運営指針である消費収入－消費支出では、１６億 ５，８００万円の支出超過となった。また、全体での基本金取崩額は、２億 ９，０００万円となった。

平成20年度 消費収支計算書

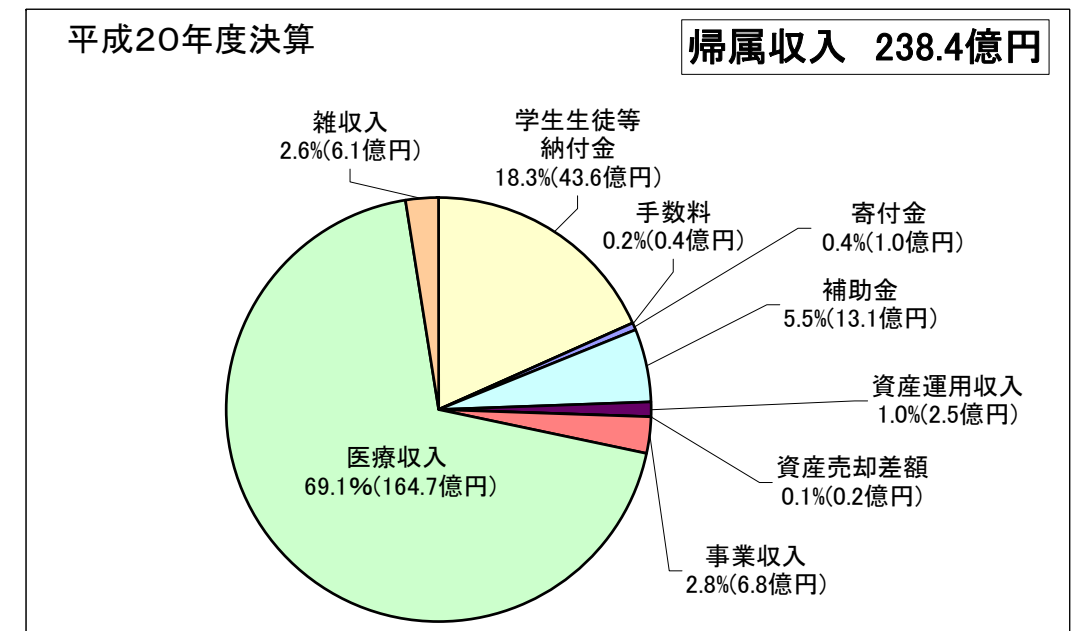
(単位:百万円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額
(消費収入の部)			
1. 学 生 生 徒 等 納 付 金	4,344	4,357	△13
2. 手 数 料	48	36	12
3. 寄 付 金	91	104	△13
4. 補 助 金	1,410	1,311	99
(国庫補助金収入)	(1,408)	(1,285)	123
(地方公共団体補助金収入)	(2)	(26)	△24
5. 資 産 運 用 収 入	215	249	△34
6. 資 産 売 却 差 額	0	18	△18
7. 事 業 収 入	640	680	△40
8. 医 療 収 入	16,319	16,470	△151
9. 雑 収 入	499	610	△111
帰 属 収 入 合 計	23,566	23,835	△269
10. 基 本 金 組 入 額 合 計	△2,505	△2,776	271
消 費 収 入 の 部 合 計	21,061	21,059	2
(消費支出の部)			
1. 人 件 費	11,544	11,471	73
2. 教 育 研 究 経 費	9,344	9,088	256
＜教育研究経費＞	<4,531>	<4,233>	298
＜医療経費＞	<4,813>	<4,855>	△42
3. 管 理 経 費	2,164	2,118	46
4. 借 入 金 等 利 息	0	0	0
5. 資 産 処 分 差 額	30	30	0
6. 徴収不能引当金繰入額等	19	10	9
	{10}		
7. [予 備 費]	205	0	205
消 費 支 出 の 部 合 計	23,306	22,717	589
当 年 度 消 費 支 出 超 過 額	△2,245	△1,658	△587
前 年 度 繰 越 消 費 支 出 超 過 額	△22,524	△22,250	△274
基 本 金 取 崩 額	56	290	△234
翌 年 度 繰 越 消 費 支 出 超 過 額	△24,713	△23,618	△1,095
(帰属収入－消費支出)	(260)	(1,118)	△858

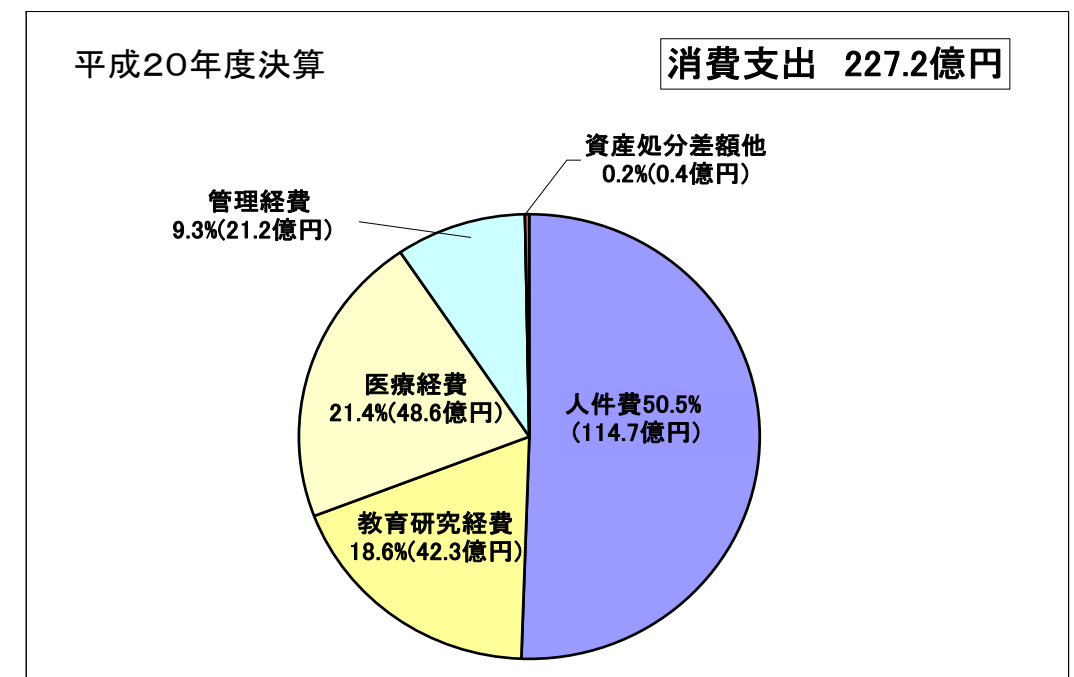
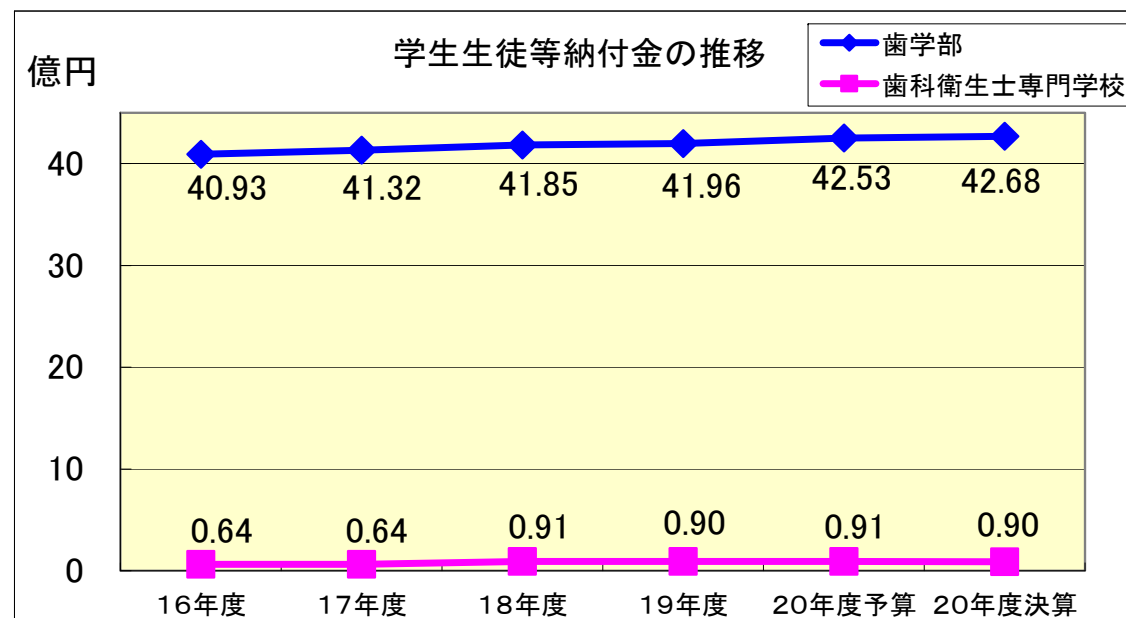
① 帰属収支差額

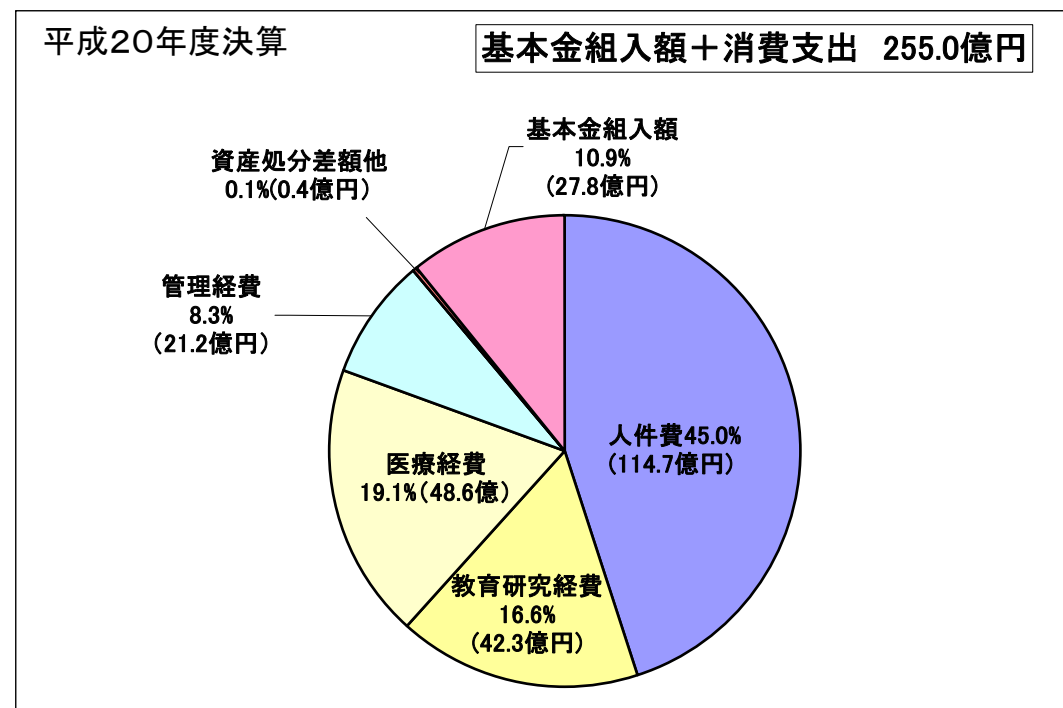


③ 収入・支出の科目別構成

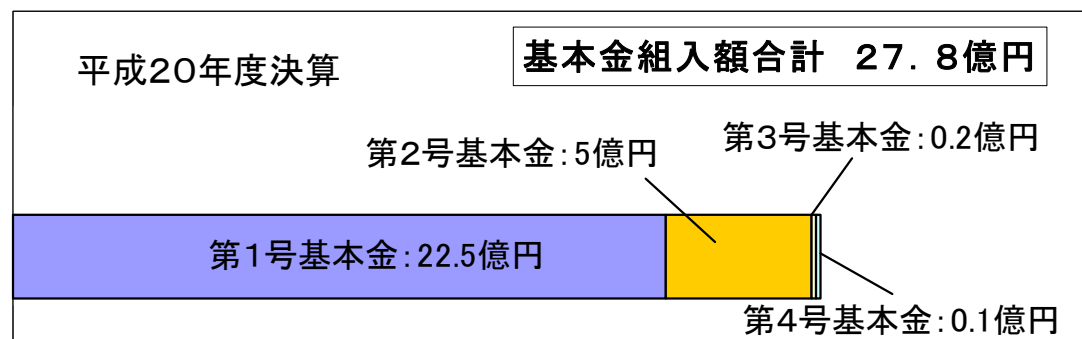
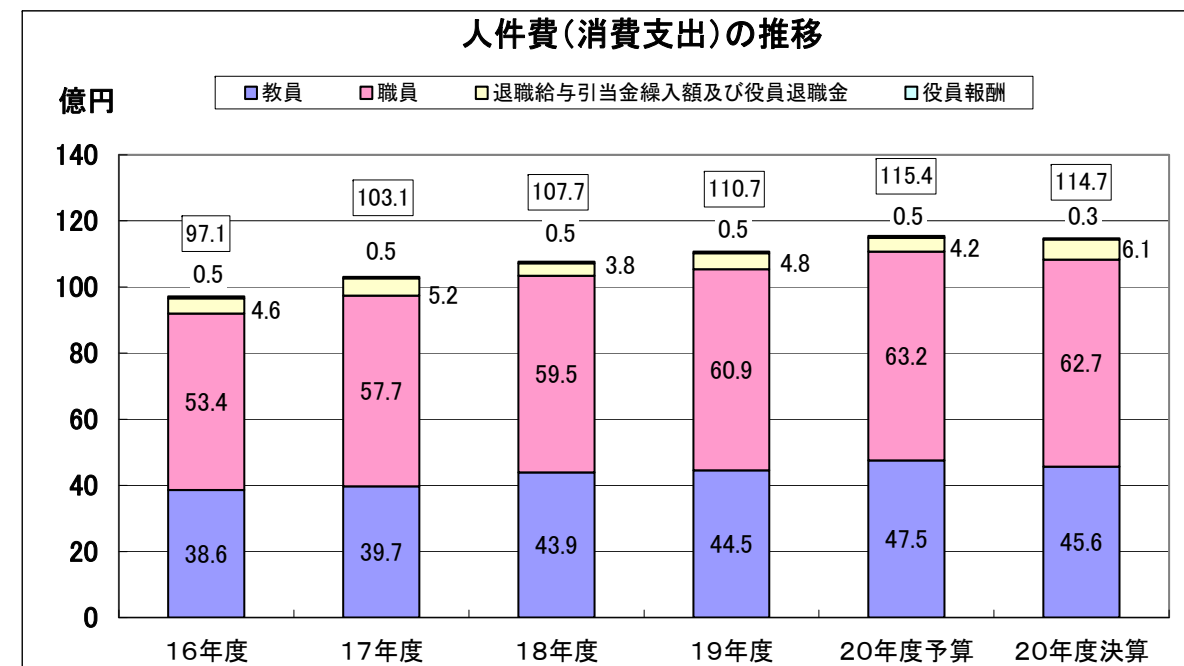


② 学生生徒等納付金

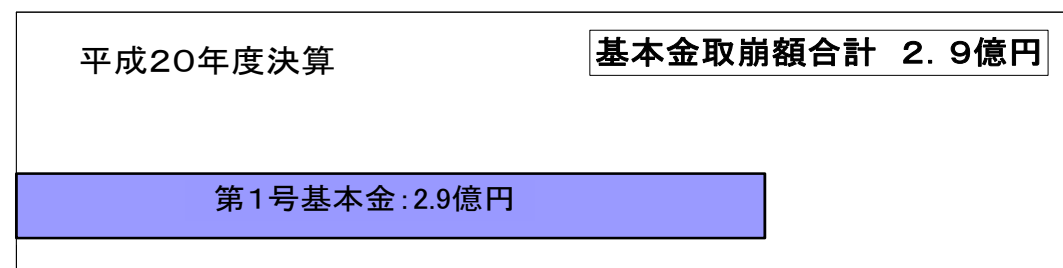
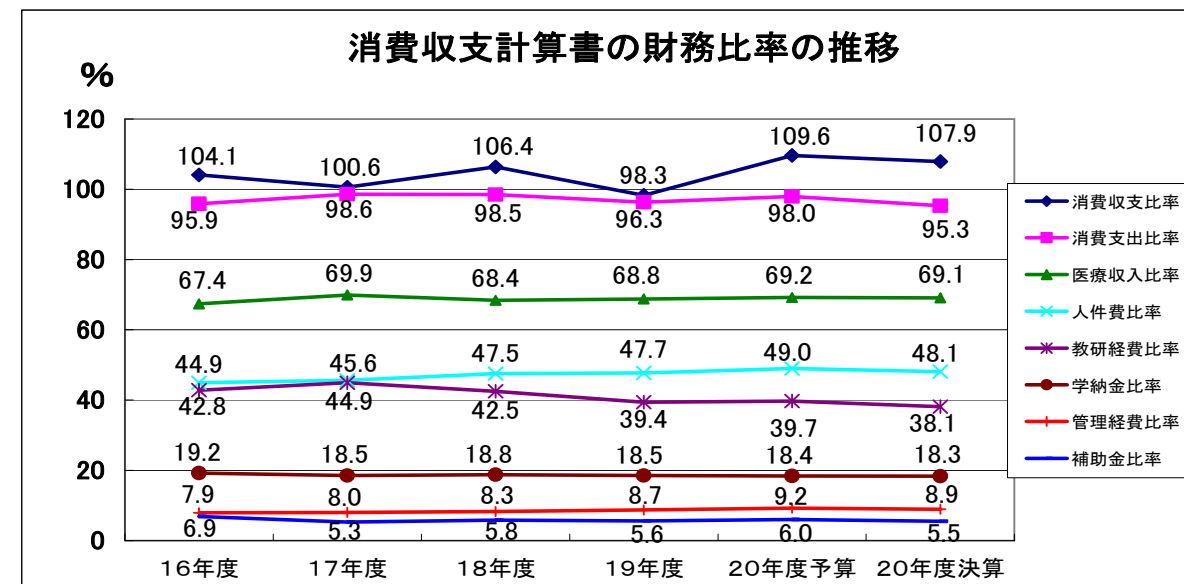




④ 人件費（消費支出）の推移



⑤ 財務趨勢比率の推移 < 20年度予算の消費収支比率(消費支出／消費収入)及び、消費支出比率(消費支出／帰属収入)は予備費を除いた比率です。>



資金収支計算書

学校法人会計での資金収支計算書を作成する目的は、第一に当該会計年度の諸活動に対応する全ての収入及び支出の内容を明らかにすること。第二に当該会計年度での支払資金の収入と支出とその顚末を明らかにすることである。当該年度はもとより、前年度以前あるいは次年度以降の諸活動に関する資金も含め、当該会計年度の中で実際に動きのあった全ての支払い資金（現金預金）の収支の動きを明らかにするため調整項目を設けている。

平成２０年度において、（収入の部）では、学生生徒等納付金収入から雑収入までは現物寄付金を含まない寄付金収入を除き同じである。前受金収入は予算と同等、その他の収入には各特定資産からの繰入収入などを計上している。

一方、（支出の部）では、人件費支出は、退職金支出が対予算１億６，０００万円増であるが、科目全体では予算を下回っている。教育研究経費支出・管理経費支出は、医療経費支出で予算を上回ったものの、各科目で予算内執行となった。施設関係支出では、学校法人で千代田区三崎町２丁目駐車場隣接地の土地取得があり、また千代田区神田駿河台２丁目土地取得を行ったことから、合せて補正予算１６億７，６４８万円を組んだ。また、市川総合病院で中央監視装置更新工事を行った。設備関係支出では、市川総合病院で、がん診療拠点病院に係る放射線機器２億８，０００万円の導入を次年度に先送りとしたことから予算より大きく減となっている。

その他の収入・資産運用支出・その他の支出で予算との差が大きいのは、退職給与引当特定資産・減価償却引当特定資産・第３号基本金特定資産・預り金・仮受金・仮払金の収入・支出などを総額表示にしている為である。

平成20年度 資金収支計算書

(単位:百万円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額
(収 入 の 部)			
1. 学 生 生 徒 等 納 付 金 収 入	4,344	4,357	△13
2. 手 数 料 収 入	48	36	12
3. 寄 付 金 収 入	75	91	△16
4. 補 助 金 収 入	1,410	1,311	99
(国 庫 補 助 金 収 入)	(1,408)	(1,285)	123
(地方公共団体補助金収入)	(2)	(26)	△24
5. 資 産 運 用 収 入	215	249	△34
6. 事 業 収 入	640	680	△40
7. 医 療 収 入	16,319	16,470	△151
8. 雑 収 入	499	609	△110
9. 前 受 金 収 入	1,222	1,212	10
10. そ の 他 の 収 入	18,212	22,477	△4,265
11. 資 金 収 入 調 整 勘 定	△3,719	△4,084	365
小 計	39,265	43,408	△4,143
12. 前 年 度 繰 越 支 払 資 金	1,021	1,636	△615
収 入 の 部 合 計	40,286	45,044	△4,758
(支 出 の 部)			
1. 人 件 費 支 出	11,504	11,399	105
2. 教 育 研 究 経 費 支 出	7,861	7,639	222
3. 管 理 経 費 支 出	1,833	1,795	38
4. 借 入 金 等 利 息 支 出	0	0	0
5. 借 入 金 等 返 済 支 出	0	0	0
6. 施 設 関 係 支 出	2,463	2,418	45
7. 設 備 関 係 支 出	785	413	372
8. 資 産 運 用 支 出	14,594	19,334	△4,740
9. そ の 他 の 支 出	1,277	1,668	△391
10. [予 備 費]	228		228
11. 資 金 支 出 調 整 勘 定	△1,280	△1,266	△14
小 計	39,265	43,400	△4,135
12. 次 年 度 繰 越 支 払 資 金	1,021	1,644	△623
支 出 の 部 合 計	40,286	45,044	△4,758

貸借対照表

平成 21 年 3 月 31 日現在

資産の部

(単位：億円)

科 目	本年度末	前年度末	増 減
固 定 資 産	((476.4))	((466.8))	((9.6))
有形固定資産	(341.7)	(331.2)	(10.5)
土地	113.5	90.8	22.7
建物	169.2	174.6	△ 5.4
構築物	12.5	13.7	△ 1.2
教育研究用機器備品	37.3	42.2	△ 4.9
その他の機器備品	2.1	2.5	△ 0.4
図書	7.1	6.8	0.3
車輜	0.0	0.0	0.0
建設仮勘定	0.0	0.6	△ 0.6
その他の固定資産	(134.7)	(135.6)	(△ 0.9)
電話加入権	0.1	0.1	0.0
施設利用権	0.1	0.1	0.0
収益事業元入金	0.5	0.5	0.0
長期貸付金	0.2	0.2	0.0
退職給与引当特定資産	50.4	49.7	0.7
減価償却引当特定資産	51.8	58.7	△ 6.9
施設設備整備引当資産	5.0	0.0	5.0
大学移転寄付特定資金	0.1	0.0	0.1
第3号基本金引当資産	26.5	26.3	0.2
長期前払費用	0.0	0.0	0.0
敷金保証金等	0.0	0.0	0.0
流動資産	((65.9))	((63.0))	((2.9))
現金預金	16.4	16.3	0.1
未収入金	29.1	26.0	3.1
貯蔵品	1.7	1.6	0.1
短期貸付金	17.7	18.3	△ 0.6
短期前払費用	0.9	0.8	0.1
仮払金	0.0	0.0	0.0
前渡金	0.1	0.0	0.1
資産の部合計	542.3	529.8	12.5

負債の部

科 目	本年度末	前年度末	増 減
固 定 負 債	((50.6))	((50.0))	((0.6))
長期未払金	0.2	0.3	△ 0.1
退職給与引当金	50.4	49.7	0.7
流動負債	((26.1))	((25.4))	((0.7))
未払金	12.0	11.7	0.3
前受金	12.1	11.7	0.4
預り金	2.0	2.0	0.0
負債の部合計	76.7	75.4	1.3

基本金の部

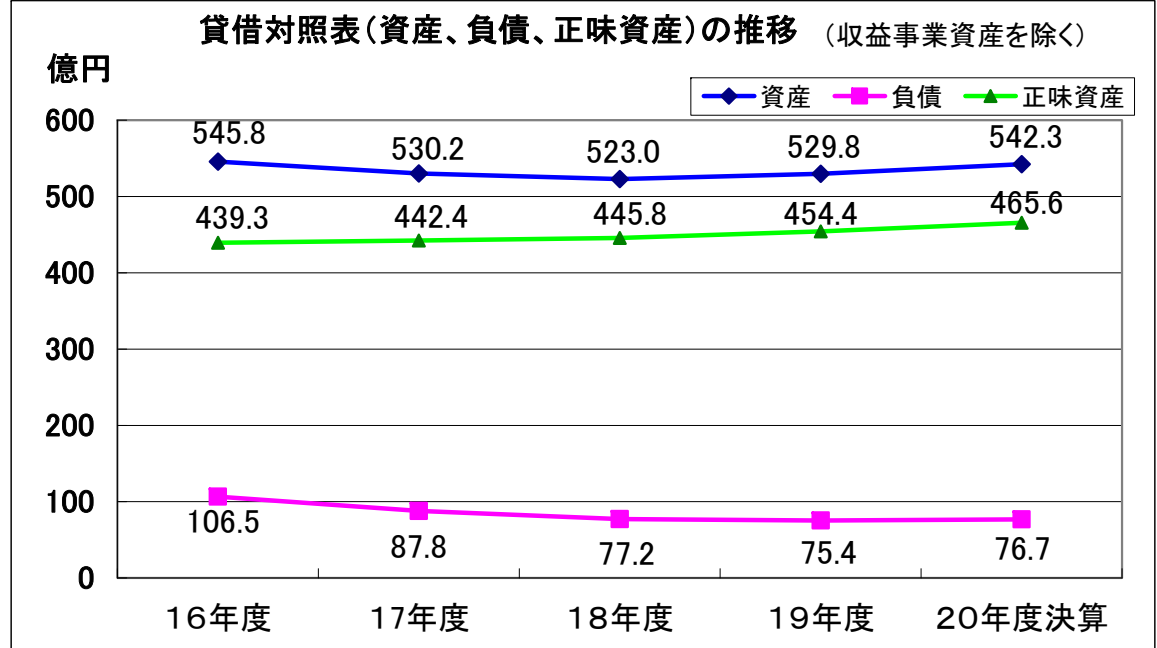
科 目	本年度末	前年度末	増 減
第 1 号 基 本 金	653.9	634.3	19.6
第 2 号 基 本 金	5.0	0.0	5.0
第 3 号 基 本 金	26.5	26.3	0.2
第 4 号 基 本 金	16.4	16.3	0.1
基本金の部合計	701.8	676.9	24.9

消費収支差額の部

科 目	本年度末	前年度末	増 減
翌年度繰越消費支出超過額	236.2	222.5	13.7
消費収支差額の部合計	△ 236.2	△ 222.5	△ 13.7
負債の部・基本金の部及び消費収支差額の部合計	542.3	529.8	12.5

貸借対照表（資産、負債、正味資産）

☆正味資産＝資産－負債（＝基本金＋消費収支差額）



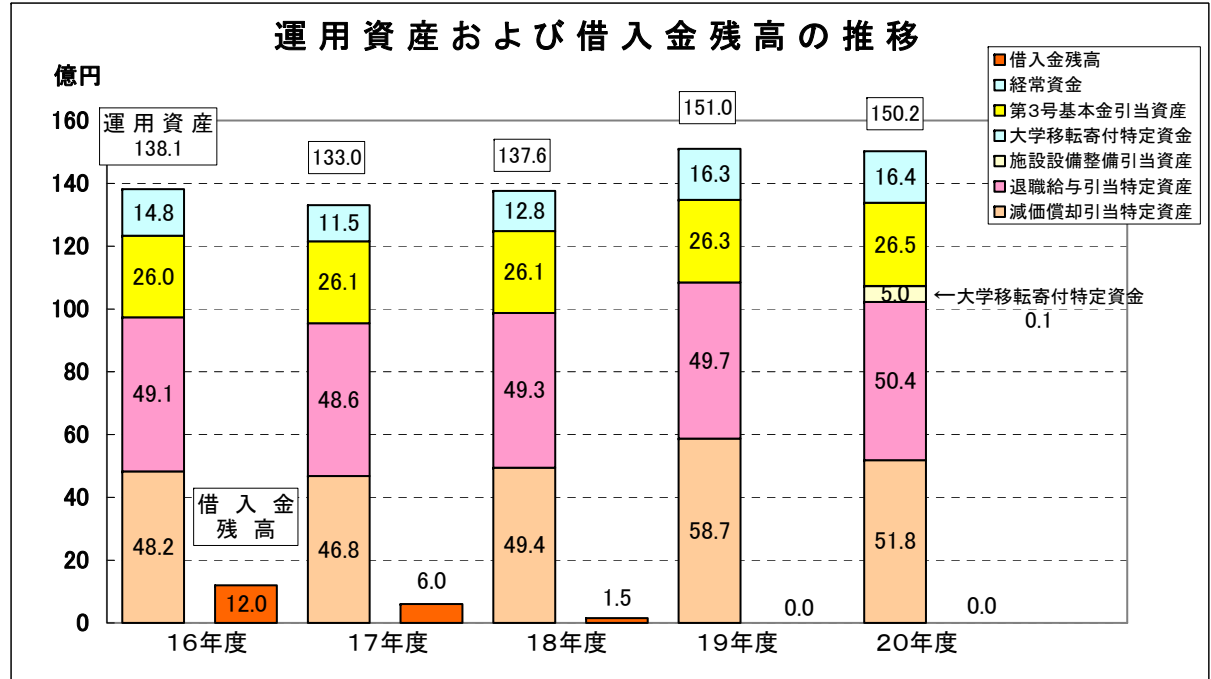
資産は前年度予算と比べると、千代田区三崎町2丁目・駿河台2丁目の土地取得などによる固定資産の増などにより、12億4,000万円の増となった。

一方、負債は、退職給与引当金、未払金、前受金、預り金ともやや増となり、1億3,000万円増となった。

学校法人の資金調達源泉を分析する正味資産／総資金比率（＝負債＋基本金＋消費収支差額）は20年度85.9％となり、前年度より0.1％数値は高くなった。

負債の割合を見る総負債比率（総負債／総資産）は0.1％低い14.1％となった。

運用資産および借入金残高



収益事業会計

営業損益の部

(1) 営業収益

不動産賃貸収入のうち**建物賃貸収入**は、予算より約5,400万円増の6億6,500万円となった。**土地賃貸収入**は、予算と同じ2億3,400万円となった。

(2) 営業費用

一般管理費は、3,000万円となり、予算をわずかに下回った。

租税公課は、予算とほぼ同等の1億5,100万円となった。

減価償却費も、予算とほぼ同等である。

営業外損益の部

(1) 営業外収益

雑収入は、テナントビルの光熱費収入である。

(2) 営業外費用

雑損失は、テナント退去に伴う解決金等の支出である。

以上により、**経常利益**は、5億5,500万円となり、予算を2,000万円上回った。

学校会計繰入金は、予算より2,000万円多い、4億5,000万円を学校会計へ繰入した。

法人税・事業税は、法人税6,200万円および法人事業税2,800万円の合計9,000万円を計上した。

以上の結果、**当期利益**は、1,500万円となり、**前期繰越損失**2億3,700万円を加算すると**当期末処理損失**は、2億2,200万円となり、徐々に累積赤字が縮小となる。

収益事業損益計算　―予算との比較―

(単位:百万円)

科 目	平成20年度 予 算	平成20年度 決 算	差 額
1. 営 業 損 益 の 部			
(1) 営 業 収 益	845	899	△ 54
不 動 産 賃 貸 収 入	845	899	△ 54
(建 物 賃 貸 収 入)	(611)	(665)	△ 54
(土 地 賃 貸 収 入)	(234)	(234)	0
(2) 営 業 費 用	310	312	△ 2
一 般 管 理 費	31	30	1
租 税 公 課	147	151	△ 4
(固 定 資 産 税)	(119)	(119)	0
(事 業 所 税)	(1)	(1)	0
(消 費 税)	(27)	(31)	△ 4
減 価 償 却 費	132	131	1
営 業 利 益 (1)－(2)	535	587	△ 52
2. 営 業 外 損 益 の 部			
(1) 営 業 外 収 益	0	1	△ 1
雑 収 入	0	1	△ 1
(2) 営 業 外 費 用	0	33	△ 33
雑 損 失	0	33	△ 33
経 常 利 益	535	555	△ 20
学校会計繰入前当期利益	535	555	△ 20
学 校 会 計 繰 入 金	430	450	△ 20
税 引 前 当 期 利 益	105	105	0
法 人 税 ・ 事 業 税	87	90	△ 3
当 期 利 益	18	15	3
前 期 繰 越 損 失	242	237	5
当 期 末 処 理 損 失	224	222	2

収益事業会計（経常利益・学校会計繰入金等）

